

むささび

第35号

平成30年10月9日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp



野沢温泉村オリンピックスポーツパークで開催された北信州森林祭 主催者・来賓と野沢温泉小・栄小みどりの少年団の皆さん

JForest 北信州森林組合

文字サイズ変更 縮小 標準 拡大

0269-38-0371
〒383-0061 長野県中野市大字壁田938-1

ホーム 組織の概要 活動について 広報 お問い合わせ アクセス

北信州森林組合チャンネル
チャンネルの目立て方法

NEWS

- 2018.08 リスクアセスメント講習会
- 2018.08 繊維ロープの研修会
- 2018.08 自家用給油所が完成
- 2018.07 林業新知識7月号ご紹介
- 2018.06 国道沿いの花の植え替え
- 2018.05 広報コンクール優秀賞受賞！
- 2018.03 業務従事者安全衛生教育を実施
- 2018.02 中野市役所新庁舎の内覧会の様子

組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 北信州森林祭が野沢温泉村で開催…………… 2
- 赤坂林産事業所に自家用給油施設完成… 3
- 繊維ロープ研修会を開催…………… 3
- 平成30年度安全大会を開催…………… 4
- 新たな安全衛生委員会を設置…………… 5
- 救急救命講習を実施…………… 5
- 役員視察研修を実施…………… 6
- 地域山林紹介⑪…………… 7
- 細木の注文…………… 8
- R292の道路環境美化…………… 8
- 林産班小山君の結婚…………… 8

北信州森林祭が開催されました。

◇地縁団体野沢組が北信州林業賞を受賞されました。◇

平成三十年度北信州森林祭が六月九日に、野沢温泉村の野沢温泉スパリーナとオリンピッククススポーツパークを会場に開催されました。

式典の中で北信州林業賞及び林業関係コンクールの表彰式が行われ、地縁団体野沢組が、北信州林業賞を受賞しました。

野沢組では、毎年、森林の境界確認を実施し、森林の適正な管理及び保全に努めるとともに、道祖神祭りに地域の木材を提供し、木材の文化的利活用の促進及び森林整備の推進に貢献していることが高く評価されました。



竹節北信林業振興会長から表彰状と記念品が地縁団体野沢組に授与されました。

今回の森林祭は、開会式典が野沢温泉スパリーナで行われました。

当日は、午後から緑の少年団の交流集会もあり、多くの少年団を含めた四百人が参加する式典となりました。一昨年以来の登場となったウエルンジャーが作業上の注意を熱演したり、野沢温泉小学校みどりの少年団による活動発表などあり、たいへんにぎやかな式典となりました。

式典の後、オリンピッククススポーツパークに移動して、植樹や木質チップ敷き、平成二十四年の県植樹祭で植えたスギの下刈りなど、いろいろな作業が行われました。



野沢温泉スパリーナでの開会式典

植樹作業終了後、スパリーナに戻って昼食となりました。お茶と汁物が振る舞われ、ステージでは野沢温泉道祖神太鼓の披露があり、多くの方が昼食を楽しみました。

当組合では森林祭で恒例の売店を設置し、昼食用におやきや笹寿司を販売しました。毎回たいへん好評で、今回も用意した食品全て売り切れとなりました。

なお、来年は中野市の開催となります。



植樹作業状況



赤坂林産事業所に自家用給油施設が

..... 林産事業の高効率化に向けた取り組み



山ノ内町の赤坂林産事業所に完成した自家用給油施設

林産事業で使う自家用給油所が完成しました。軽油専用で二万リットルの地下タンクが埋設されています。林産事業では機械化が進み、毎月二万リットル以上の軽油を使用しています。農林業用の免税軽油を使うことも検討しましたが、ドラム缶などの移動できる容器への給油は対象外であり、現場に専用の貯油施設を設けることも困難なため、これまで専用のポリ容器で、ガソリンスタンドで購入し運んでいました。そのため、五班が一度に給油する時間のロスも課題となっていましたし、他のお客さんの迷惑にもなっていました。今後は、ここでポリ容器に給油して現場に運んでいきます。

また、冬季には山ノ内町道の除雪車の給油や、小型タンクローリーを導入して木島平や野沢温泉の除雪車への給油なども検討しています。



組合会議室で行われた繊維ロープ研修会

繊維ロープ研修会を開催しました。

新たな素材を導入して効率と安全の向上に取組んでいます

東京製綱繊維ロープ株式会社から講師を招いて繊維ロープの研修会を行いました。一月に、さいたま市で開催された林業安全宣言キャンペーン・研修会で、その利便性の説明を受け、林産現場などでの導入を検討してきました。特に昨年の労災事故で台付ワイヤーが切れて事故が発生するなど、ワイヤーの管理が課題となっており、今年の五月から試験的に林産事業二班で使ってきました。

たいへん現場の評判が良く、今回、当組合の林産班だけではなく、栄村森林組合、長野森林組合にも呼びかけて開催しました。軽量で作業もはかど、アイスブレイクも器具を使ってロープの中心に差し込むだけで、熟練者でなくてもできるなど、鋼製ワイヤーよりも扱いやすいということです。また、強度も鋼製ワイヤーよりも強いことから、今後の本格導入を進めたいところです。

課題は価格が高いことから、作業効率等と換算して導入をしたいと考えています。

平成30年度安全大会を開催しました。

..... 6月29日にアップルシティなかので開催

今年度、安全管理特別指導事業場に指定

これまで以上の労働安全の取り組みが求められます

当組合では、これまで事業計画に安全衛生方針を盛り込むなど、組合の方針として労働安全に取り組んできましたが、なかなか労働災害の減少には至っていません。昨年は、休業4日以上以上の災害が二件発生するなど、今年度は長野労働局長から「安全管理特別指導事業場」に指定されました。これを受けて、当組合では中野労働基準監督署の指導を受けながら、適正な労働安全衛生管理の下で、安全衛生方針・目標に従い、次年度での指定解除を目指して、労働安全衛生活動の取組みを進めています。

昨年度の事故の内容を見れば、多くが基本的なミスが原因であり、個々の労働安全意識の向上がなければ、労働災害を防ぐことはできませんので、こうしたことを念頭に、役職員及び協力事業体が一丸となり、労働災害防止に取り組み、役職員および協力事業体職員が安全で健康に生活



塚原キャリアコンサルタント事務所代表の塚原昭雄さんによる講演

できるよう、労働安全衛生への共通認識を持ち、労働災害ゼロを目指して、安全大会を開催しました。

今年の安全講話では、労働安全の初心に立ち返って労働安全の専門家である、塚原キャリアコンサルタント事務所代表の塚原昭雄さんに講演いただきました。過去の災害事例を用いた災害における各立場での責任や義務についての説明に、参加者全員が真剣な面持ちで聞き入っていました。

普段の労働安全への取り組みの積み重ねが、たいへん重要であることを改めて認識しました。

安全推進優秀会社に栄村森林組合

...直営班からは畔上班が表彰される...



表彰を受ける栄村森林組合さん

安全大会では、協力事業体十三社の中から、昨年度の労働安全活動に特に優秀な会社として、造林事業や利用事業で協力いただいている、栄村森林組合さんに表彰状と記念品が贈られました。

直営班については労災事故がなく、現場でICT関連の試験なども行っている、林産の畔上班が表彰されました。

今年、中野労働基準監督署指導の下で、役職員への労働安全指導が行われ、また、組合でも様々な労働安全の取り組みを予定しています。労働安全にこれまで以上に取り組み、全ての事故をゼロにして、安全管理特別指導事業場の指定解除を目指すことを誓いました。

また、大会の中で技能職員として新卒採用した、松本班の豊岡君と太田班の辻君の紹介がありました。大会終了後、同会場で出席した役職員と協力事業体の皆さんとで、懇親会を行いました。こうして一堂に会するのは年に一回のことですので、それぞれの立場を超えて歓談し、有意義な時間となりました。



安全大会の様子

新たな安全衛生委員会を設けました

安全衛生委員会の構成

委員長	総括安全衛生管理者（組合長）
副委員長	安全衛生管理者（有資格者）
安全委員	安全管理者（有資格者）
安全委員	安全衛生推進者（有資格者）
安全委員	安全衛生推進者（有資格者）
安全委員	労働組合推薦委員 5名
衛生委員	産業医（有資格者）
衛生委員	衛生管理者（有資格者）
衛生委員	労働組合推薦委員 3名

長野労働局の安全管理特別指導事業場指定にともなう中野労働基準監督署の調査で、安全衛生委員会の構成に不備があったことから、是正勧告を受けてしまいました。そのため、今回、法令に基づいて安全衛生の役割にある者と、労働組合からの推薦による者で、新たに委員会を構成し、安全委員会と衛生委員会を毎月一回開催していくこととしました。



産業医による衛生巡視を実施

七月二十六日の衛生委員会に合わせて、産業医による衛生巡視を実施しました。各事務所を回り事務所内の作業環境や作業管理、勤務体制、労働衛生対策など確認して意見をいただきました。

産業医さんからは、衛生巡視を行った結果、良好な職場環境であるとの感想をいただきました。また、冬季の除雪事業では、深夜業務となり、昼夜が逆転することになり発ガン率も高くなるので、健診項目について予算など考慮し追加の検討も必要との意見をいただきました。

救急救命講習を実施しました。



六月二十九日に、山ノ内町のよませ活性化センターの会議室をお借りして、技能職員全員を対象にした救急救命講習を開催しました。当日は、岳南広域消防本部から講師を招いて行いました。外傷処置、骨折の処置、高地対応、熱中症対策と対応など多岐にわたる救急救命の方法について講義を受けました。

特に今年は、心肺蘇生について重点的に講習を受け、参加者全員が実技に取り組みました。

あつてはならない事ですが、もしもの時に正確な知識や経験がないと適正な処置・対応ができず、より重症化させてしまう懸念もあります。こうした事が、有事の際には役立つはずです。

役員視察研修を実施しました。

…… 栃木県のトーセン那珂川工場を視察 ……

七月五日に栃トーセン那珂川工場を視察しました。この工場は、那珂川町から廃校になった中学校の校舎と校庭を借りて、製材と乾燥加工の工場、バイオマス発電所などが作られています。

発電所では、製材で出る端材やオガ屑だけでなく、山に放置して利用していなかった間伐材を年間約五万トン集めて燃やし、熱エネルギーとして活用しています。発電出力は二千五百KWになります。

このうち三百KWを工場で使い、残りを売電しているそうです。発電量は一般家庭約五千戸分に相当し、年五億円の売電を目標にしているということです。

また、木材を乾燥させるためのボイラーの余熱を利用して、ハウスでコーヒーを栽培したり、旧校舎内でウナギ養

殖もしています。

山林に近い工場で木材を一次加工した後、拠点工場に集めて乾燥・加工・保管する独自の木材供給システム『母船式木流システム』で、質の高い木材の供給と輸送コストの削減に取り組んでおり、これに加えて各地で木質バイオマス発電所を稼働すれば、国産材メーカーとして輸入材にも十分対抗できるようになるということです。

木質エネルギーの活用が進めば、森林所有者が伐採、植林に取り組み、過疎地に新たな雇用と産業を生み、国土の再生だけでなく地方の活性化、自立にもつながるということです。

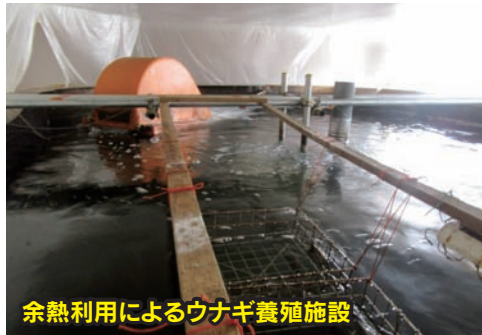
当組合としても、今後の木材販売先の一つとして注目しているところです。



木質バイオマス発電施設

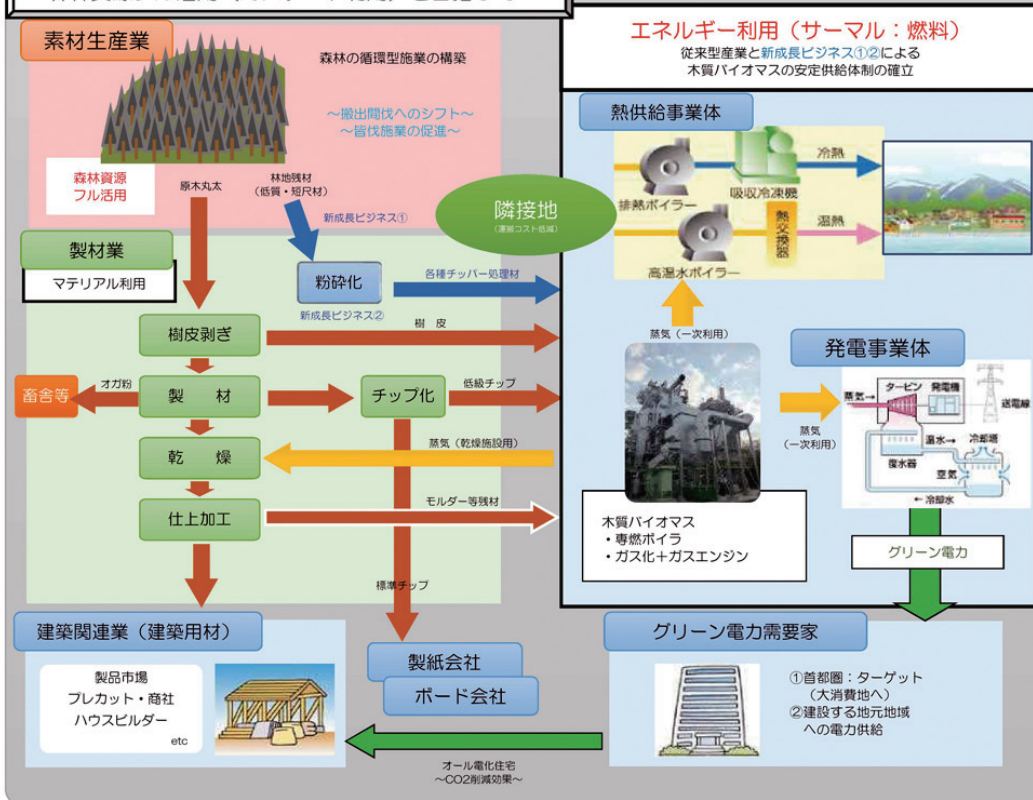


余熱利用によるコーヒー豆栽培施設



余熱利用によるウナギ養殖施設

森林資源フル活用（カスケード利用）を目指して



地域山林の紹介①

永田財産区（中野市）

一 沿革

永田財産区は、豊田村以前の旧永田村当時に採草地不足の解消のため、飯山藩より貸与されていたが、後に払い下げを受けて永田村有林となりました。

昭和三十一年の豊井村と永田村の合併に際して、両村での財政状況から合併促進協議会での協議の結果、豊田村へと合併後も永田地区民の財産として残すこととなり、永田財産区管理会が設置され、永田財産区が設けられました。

権利部落は、涌井区、梨久保区、親川区、北永江区、南永江区、毛野川区、穴田区、三俣区、赤坂区、豊田深沢区です。財産管理者を中野市長として、永田財産管理会を設置して地元の意見を反映させながら、永田財産区特別会計により運営しています。

二 位置

斑尾山西面と南面の一部林野、北永江区の字鳥屋峰、大平の一部林野を所有しています。

中野市大字永江字斑山八五六・三外二十八筆

三 財産管理会

構成 涌井区、梨久保区一名、親川区一名、北永江区一名、南永江区一名、毛野川区一名、穴田区一名、三俣区、赤坂区、豊田深沢区一名の計七名

財産内容積

山林（保安林含む）	784,580㎡
原野	60,042㎡
溜池	1,183㎡
合計	845,805㎡

財産の現況

森林研究・整備機構 分収造林
21.13ha（大字永江字斑山 8157-1）
昭和 37 年に契約（面積 30.83ha 期間 50 年）
契約変更
昭和 44 年 面積変更
30.83ha → 21.13ha
（スギ 8.34ha カラマツ 12.79ha）
平成 14 年 期間変更
50 年 → 70 年
（契約満期 平成 43 年）



字斑山にある永田財産区位置図（黄色線で囲まれた箇所）

字斑山の財産区林は、保健保安林の指定も受けていて、林内をめぐる遊歩道が設けられています。道路沿いにはアジサイなどが見られ、季節ごとに様々な山野草が楽しめます。

近くには、斑尾の湯やキャンプ場などがあり、家族で楽しめますので、訪れてみてください。



平成 21 年間伐の状況

森林組合では平成二十一年に斑山地区で四十ヘクタールの搬出間伐を行っています。

林内に千メートルほどの作業路を開設し、カラマツを主体に定性搬出間伐により、千六百立米の木材を生産しています。

平坦な地形であり、林内に幾筋かの作業道が入っているなど、施業のしやすい林分でしたので、曲がりの多い林分でしたが、欠点木を中心に間伐する定性間伐でも、収益が出ました。

次の間伐では、残存木の曲りも少なくなり、もっと良い結果がでるのではと考えています。

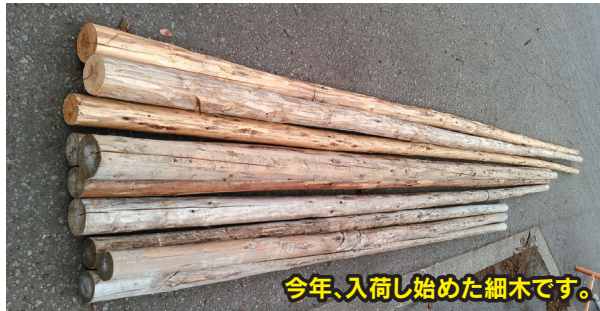


遊歩道

H30 細木販売 1本あたりの単価表

単位	販売価格		配達料 (本/円)	配達料込価格	
	員内	員外		員内	員外
2m	730	803	50	780	853
3m	1,200	1,320		1,250	1,370
4m	1,680	1,848		1,730	1,898
5m	2,450	2,695	100	2,550	2,795
6m	3,230	3,553		3,330	3,653
7m	3,630	3,993		3,730	4,093
8m	4,130	4,543		4,230	4,643

※表中の価格に別途消費税が掛かります。



細木の注文承ります。
品薄のため早目の注文をお願いします。

細木については、毎年、岳北地区を中心に注文をいただいております。冬囲い用などの利用が主体となっていると思います。

この細木は、長野県森林組合連合会を通じて、三重県などから仕入れをしているものですが、最近では木質バイオマス発電所が多くでき、燃料としてスギ材の需要が増大しているため、細木加工用丸太の生産が減少しています。そのため今年度は、細木が品薄となっておりますので、早めのご注文をお願いするものです。たいへん申し訳ありませんが、品切れの際はご容赦ください。

なお、平成三十年度の販売価格は、次の単価表のとおりです。

国道の道路環境美化

長野県と協定を締結して、国道の道路環境美化を行っています。今年度は夏の花への植え替えを、六月十三日に行いました。

建設事務所から花苗と肥料などを提供いただき、当組合が協定個所での植え替え、草取り、水くれなどのボランティア活動を行うものです。

今後、十月下旬に春の花への植え替えを行う予定です。道路を通る皆さんが、花を楽しめるように管理を行っています。



林産班の小山君が結婚!!

林産班に配属になり3年目の小山大和君が、8月12日にめでたく結婚をされました。

披露宴には同僚や上司などが招待され、小山君の結婚を祝福しました。ケーキカットではヘルメットを被ったり、チェーンソーを使うなど、林産班で活躍する小山君らしい演出でした。なお、奥さんは高校の同級生とのことです。

本 所

〒383-0061 中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業室

〒389-2255 飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120

編集後記

今年の梅雨はあつたのか、暑い日が続く生活するにはとても大変な年だったと思います。ただ、雨が降らなかったため、林産事業は順調に進みました。これから秋の長雨や、大雪などが心配です。自然には敵いません。備えあれば憂いなしともいえます。お気をつけください。